

教育研究所年報

第31号

2022

文教大学教育研究所

教育研究所年報 第31号

目 次

2021年度 事業報告

事業報告	3
第27回「世界の教科書展（オンライン特別編） 特集：教科書を通して見るアメリカの社会と教育」.....	4
〈学外巡回展〉	
世界の教科書展：文教大学教育研究所コレクション	5
定例研究会	6
諸外国の教科書収集	8

2022年度 事業計画

事業計画	10
------------	----

2021年度事業報告

<研究部> 研究部主任 山川 智子

1. 「世界の教科書展」の実施

第27回「世界の教科書展 特集：教科書を通して見るアメリカの社会と教育」を、10月29日(金)～31日(日)の学祭期間中、オンライン配信方式で開催。教育学部の福田スティーブ利久先生にコーディネーターをお願いした。なお、感染症対策のため、教科書やパネルの実物展示は差し控え、教科書解説のパネル原稿は、教育研究所のホームページで公開した。さらに、大学のホームページに教科書展の案内を掲載していただいた。そこに、①「世界の教科書展」のこれまで(山川智子)②メリーランド州チャールズ郡の教育制度と教育施策の概要(手嶋将博)③アメリカの学校教育(福田スティーブ利久)の3点のオンデマンドレクチャー動画を載せた。これらの動画は学祭期間終了後、11月末日までの期間限定で、申請者のみに一般公開した。

また、12/1(水)～7(火)に「OKEGAWA hon+」(桶川)でも同内容の「世界の教科書展」を解説パネル展示にて開催し、12/4(土)～5(日)には、上記①～③の動画を会場のモニターで公開。

2. 『教育研究所年報』第30号の発刊

『教育研究所年報』第30号を5月に発刊した。2020年度事業報告として、「言語文化研究科研究発表会」への参加、「文教大学の授業」合冊本の刊行、「世界の教科書展」のこれからのむけて、諸外国の教科書収集表、2021年度事業計画を計11頁に掲載した。

3. 客員研究員の受け入れ

国内の学術機関(他大学を含む)から計6名の客員研究員を受け入れた。

4. 「定例研究会」の実施

2021年11月6日(土)に「定例研究会」をオンラインで実施した(通算第99回)。

<研修部> 研修部主任 小幡 肇

1. 『教育研究所紀要』第30号の発刊

2021年12月22日付で『教育研究所紀要』第30号発刊した。特集テーマは「『持続可能な開発目標(SDGs)』の視点をふまえた教育実践」とし、依頼論文2編を掲載。自由研究では、研究論文4編、実践研究1編、実践報告1編という内容であった。

2. 『教育研究所ニュース』の発刊

『教育研究所ニュース』第50号を11月に発刊した。巻頭言を「ロイロノートを活用する小学校の授業」とし、世界の教科書展の報告、桶川市における世界の教科書巡回展と定例研究会のお知らせ、『文教大学の授業』の執筆者紹介を掲載した。

3. 『文教大学の授業』の発刊

第76号『自分で英語学習ができる学生』を育てる英語授業(教育学部 福田スティーブ利久先生)、第77号「身体性を大切にしたい異文化理解教育の試み『国際理解とコミュニケーション』(国際学部 孫美幸先生)、第78号『自律的学習法』を抛り所として取り組んだ『総合的な学習の時間の指導法』(教育学部 小幡肇先生)、第79号「中国の大学とのオンライン日本語教育実習：『日本語教育実習2』(文学部 荒井智子先生)。

4. 教育研究所ホームページの運営・更新

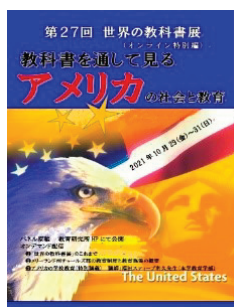
前年度までと同様、教育研究所の各事業終了後は、速やかに研究所ホームページに掲載する情報の更新を行い、本研究所の事業活動を広く社会に発信することに努めた。

第27回「世界の教科書展（オンライン特別編） 特集：教科書を通して見るアメリカの社会と教育」

2021年10月29日(金)～31日(日) オンライン開催

研究部主任 山川 智子

実施概況



1994年度から開催している「世界の教科書展」は、教育研究所の特色ある取り組みのひとつである。1997年度の第4回の教科書展からは、越谷キャンパスの学園祭（藍蓼祭）で開催してきた。世界のある地域の、主として初等教育に焦点を当てて企画・運営を行うこともあれば、複数の地域の、特定科目の教科書に焦点を当てることもあった。主として初等教育の教科書を展示し、教育制度や教科書の内容を紹介している。来場者との意見交換の場として、教科書展は発展してきた。

2020年度は、コロナ禍により教科書展そのものの開催を見送らざるを得なかった。これまで築いた伝統を引き継ぐためにも、なんとか開催できないかと教育研究所で模索し、2021年度はオンラインで開催することができた。コロナ前の実施形態（教科書の実物展示、および、会場を埋め尽くすパネルによる特集地域の概要や教育制度の紹介、動画閲覧用のiPadの設置）と異なる形態で、果たして教科書展を実現させることができるのか、試行錯誤しながら皆で案を出し合った。検討の結果、教科書の実物展示は行わないこととし、パネル原稿は、教育研究所のHPで公開することとした。

今回は、「教科書を通して見るアメリカの社会と教育」を特集テーマとし、本学教育学部の福田スティーブ利久先生にコーディネーターをお願いした。また、以下のようなオンデマンド・レクチャーを作成し、大学ホームページで期間限定で申請者のみに一般公開した。

- ① 「世界の教科書展」のこれまで（山川智子）
- ② メリーランド州チャールズ郡の教育制度と教育施策の概要（手嶋将博）
- ③ アメリカの学校教育（福田スティーブ利久）

アメリカでは、近隣諸国やアジア地域からの移民が増えている。ことばの面で考えても、スペイン語や中国語の話者人口も増え、もはや英語だけでは、多様な民族・文化を背景に持つ「国民」間の相互理解が難しくなっている。アメリカはこうした多様性を内包する国であるため、教育制度も州や郡によって異なる。今回はメリーランド州チャールズ郡の教育制度に焦点を当てつつ、アメリカ全体の教育も視野に入れて考えた。「近くて遠い国」ともいえるアメリカの教育について考え、日本との関係や歴史についても熟考する機会になったのではないかと考えている。

アメリカのファーストレディーのジル・バイデン氏は元教師でもあり、ホワイトハウスにおいても教育への関心が高い。現在はコロナ禍なので、授業形態や子どもとの関わり方も含め、学校教育全体の在り方も問われている。学校再開、オンライン授業の促進等、新しい課題にアメリカがどう向き合っていくのか、考えていく必要がある。

コロナ前の「世界の教科書展」は、学生アルバイトのサポートに負うところが多かった。若い世代の考えを取り入れるために、教科書展がオンライン化となっていく過程でも、学生たちに協力を求め、工夫を凝らしていきたいと考えており、その方法も検討していきたい。皆で作りに上げていくという教科書展の伝統を継承していきたい。

〈学外巡回展〉世界の教科書展：文教大学教育研究所コレクション －特集 教科書を通してみるアメリカの社会と教育－

日時：2021年12月1日（水）～7日（火）10時～21時
（モニター展示12月4日（土）・5日（日）10時～16時）
会場：「OKEGAWA hon+」（桶川駅西口駅前桶川メイン3階）
共催：丸善雄松堂株式会社

研究部主任 山川 智子

実施概況

教育研究所は「教育に関わる幅広い研究の推進とそれに基づく社会的貢献」を目的とし、学内外の研究者の協力を得て様々な研究に取り組んでいる。なかでも、越谷キャンパス学園祭（藍蓼祭）で開催される「世界の教科書展」は、教育研究所の特色あるイベントのひとつとなっている。1994年度からはじまり、1997年度から藍蓼祭に参加している。2020年度はコロナ禍で開催を見送り、2021年度の第27回目はオンラインで開催した。

2016年度からは、研究成果を地域の方たちに還元すべく、桶川市、丸善雄松堂株式会社（教育・環境ソリューション事業部）、文教大学の三者共催で学外巡回展を行っている。この巡回展は、2021年度で5回目となった。12月1日（水）～7日（火）10時～21時の巡回展期間中は、コロナ禍での感染防止対策のため、教科書の実物展示はせず、パネル展示とモニター上映を行い、アメリカの社会と教育の一端を紹介した。

パネル展示は開催期間を通して行った。モニター上映は期間中の週末にあたる、12月4日（土）・5日（日）の10時～16時まで行った。モニターの内容は藍蓼祭のものと同様で、以下のとおりである。

- ① 「世界の教科書展」のこれまで（山川智子）
- ② メリーランド州チャールズ郡の教育制度と教育施策の概要（手嶋将博）
- ③ アメリカの学校教育（福田ステイーブ利久）

大学と地域とが連携し、情報共有し、ともに教育を考えていく時代である。地域の方たちに教育研究所の活動を紹介する機会を少しでも増やしていければと願っている。

教育研究所では世界各地の教科書を収集し、保管してきた。2017年度には、モラロジー研究所から教科書の寄贈を受けた。およそ30か国・地域の教科書を保有し、その数は約1万冊に達する。世界の教科書を収集し、保管するという地道な活動を行っている研究機関は国内でも珍しく、近年はメディア関係者や他の研究機関からの問い合わせも増え、また、一般の方たちからも連絡をいただくようになった。このような貴重な資料をどのように活用し、どのような形で公開していくかに関しては試行錯誤の連続であるが、「教育に関わる幅広い研究の推進とそれに基づく社会的貢献を果たす」という教育研究所の理念に向けて精進を重ねていきたい。

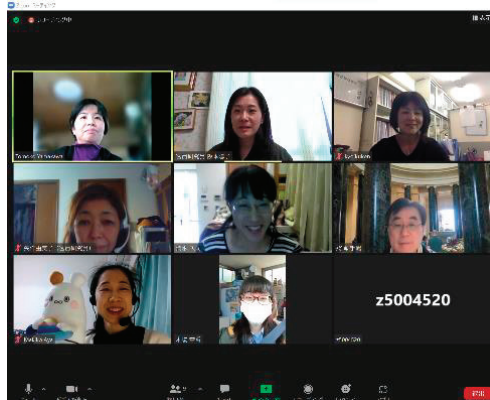


定例研究会

教育研究所所長 手嶋 將博

本年度の第99回定例研究会は、2021年11月6日(土)12時30分～15時30分、オンラインで開催した。報告題目は次の通りである。「ビブリオバトルの多様な実践の在り方について」(彰栄保育福祉専門学校:綾 牧子)、「家庭科消費分野における意思決定の変化に関する研究—『エシカル消費』をテーマとした授業実践を通して—」(春日部市立粕壁小学校:木場 雪香)、「生涯学習社会の学習に関する研究—大人の学びに注目して—」(台東区教育委員会:阪本 陽子)、「豊かななかかわりあいの中で、今と未来にいきる—児童の自尊感情を育む学級経営のあり方を探る—」(川越市立川越小学校:清水 香保里)、「日本とインドネシアの若者による国際協働プログラム実践報告—小学校での国際理解教育実践をリモートでサポート—」(特定非営利活動法人地球対話ラボ:中川 真規子)、「基礎教育の保障—遠隔授業と夜間中学の在り方について—」(中央大学法学部・福祉学部:矢作 由美子)。

本研究所が定期的で開催する定例研究会は、本学の教職員、学部生、大学院生をはじめ、本学を卒業・修了したOB・OGや現役の教員など、学内外を問わず誰でも参加、聴講、質疑応答ができる場であり、教育に関わる幅広い研究の推進とそれに基づく社会的貢献を果たすとともに、教育・教育現場をめぐるさまざまな状況の変化に応じて、常に新しい情報や知見を発信していくことを目的とするものである。



オンラインでの定例研究会の様子

2021年度定例研究会発表要旨

<第99回 2021/11/6(土)>

ビブリオバトルの多様な実践の在り方について

綾 牧子

保育者養成課程におけるビブリオバトルを取り入れた授業実践について検討した。ビブリオバトルを学校の授業で行う矛盾を背景に、授業目的を「①ビブリオバトルを十分に楽しむ、②ビブリオバトルの持つ可能性を考える」こととした。また、実践前には、ビブリオバトルのおもしろさや楽しむポイントを説明したり、学生から楽しむためのアイデアを募ったりした。ビブリオバトルなどのアクティブラーニング的な活動は、自己開示を伴うため、その点に対する配慮も必要であることを示唆した。

家庭科消費分野における意思決定の変化に関する研究

—「エシカル消費」をテーマとした授業実践を通して—

木場 雪香

2019年1～7月に群馬県内A大学の大学生・大学院生対象に環境や社会に与える影響を考慮した消費として、「エシカル消費」をテーマとした家庭科消費分野の模擬授業及び社会考慮尺度を基に作成したアンケートを実施し、調査・分析を行った。その結果、質の高い意志決定能力を高め、行動変容するには、1回きりの授業や今回行った授業内容では限界があるが、今回の授業内容でも、意思決定に関する認知度や社会考慮尺度は半年経過しても高い点数を保つことはできた。

生涯学習社会の学習に関する研究

—大人の学びに注目して—

阪本 陽子

生涯学習研究は、職業領域の扱いにくさから成人教育分野の発展に遅れがみられるが、生涯学習の新たなフェーズを捉え、学習の構造全体を捉えなおすことが求められる。これからの社会では、ますます「学習」が重要なキーワードとなり、とりわけ自己を認識してリフレクション（振り返り）しながら、目的、学び、統合のバランスを図ることは必要である。そのための振り返りの指標として、8つの項目を立て、5段階のレーダーチャート方式で図式化した自己評価シート「学習者としてのわたし」の試案を作成した。

豊かなかわりあいの中で、今と未来に生きる

—児童の自尊感情を育む学級経営のあり方を探る—

清水 香保里

児童の自尊感情についての実態を明らかにし、その課題を様々な視点で支え、改善できる手立てを見つけ出すことを目的に実践した学校研究である。自尊感情の実態調査は、鳴門教育大学予防教育センターと連携した取組と本校作成の「心と体の健康観察」の取組を活用した。算数、体育、道徳、特別活動の実践を通して、改善できる手立てを見つけ出し検討した。今後は、コロナ禍においても自尊感情を育み続けられるよう、実践していく教科を絞って研究を進めていく。

日本とインドネシアの若者による国際協働プログラム実践報告

—小学校での国際理解教育実践をリモートでサポート—

中川 真規子

ICT機器を活用した日本とインドネシアの若者による国際協働プロジェクト実践経過の報告を行った。日伊の若者（高校生～20代）が、リモートで異文化交流と社会貢献活動を行うというもので、その社会貢献の場として、日伊の若者による小学校での文化体験ワークショップの実施を設定した。発表当時、ワークショップ準備は途中であったが、準備過程において、リモートであっても、異文化と出合った時の喜びや驚き、葛藤といった様々な感情をもちながら学び合う若者の姿が見られた。

基礎教育の保障

—遠隔授業と夜間中学の在り方について—

矢作 由美子

「基礎教育の保障—遠隔授業と夜間中学の在り方について—」報告を行った。2011年4月現在で全国に公立夜間中学は36校設置され、札幌、福島、群馬、千葉市、静岡、岡山、鳥取、福岡大牟田、長崎、相模原市など設置予定の名乗りを上げ始めている。ただし、県や政令指定都市などに1か所レベルでの設置に留まっており学びたい人にとっては遠隔授業の可能性を含めて、夜間中学校の在り方を模索する一方で、埼玉県川口市公立夜間中学（陽春分校）の現状について報告した。

諸外国の教科書収集

教育研究所では、設立当初より海外の教科書を収集してきた。収集した教科書は「世界の教科書展」に展示し、近年はマスコミからの問い合わせや取材依頼も多い。2021年度は、エジプト、ベトナムの教科書を各55冊ずつ収集した。

1. 初等学校（計27カ国 2107冊）

（2022年3月31日現在）

国	教科	国語	社会	算数	理科	生活科	総合科	音楽	美術	体育・健康	実科	英語	日本語	道徳・宗教	情報	国際理解	その他	計（冊）
アメリカ		42	16	46	8		5										3	120
イギリス		20	12	8	12										10			62
インド		141		5			10			7				9	15			187
インドネシア		6	12	6	6				6	2		6		6			6	56
エジプト		11	6	5	3	10						8		12				55
オーストラリア		60	7	23	18				6	10	6		3	3		1	7	144
オランダ		2	3	6	6							1					2	20
韓国		26	14	23	16	10		4	4	8	2	6		10			8	131
ケニア					3													3
シンガポール				23	13					6		5						47
スイス		2		1														3
スペイン		6	4	6	6		4					6		7	2		1	42
スリランカ		7		5								6		6				24
タイ		12	6	7	6	1	1		2	6	6	6					6	59
台湾		18	12	21	12	6	18		12	18		20						137
中国		10	11	16	15			6	5			44		6			1	114
ドイツ		8		11		20	4	2	3			17		3				68
トルコ		22	19	18	16							18		19			22	134
バングラディシュ		5		3								1					3	12
フィンランド		28	7	26	18							13						92
ブラジル		10	9	9	9				5			5		11			6	64
フランス			10	7								20						37
ベトナム		14	4	8	6	2		5	5	3	2			4			2	55
ポーランド		1		1	1													3
マレーシア		36	6	33	22	7		3	5	15	3	33		24	3		15	205
ラオス		10		10		10			5	5		6					5	51
ロシア		51	1	27	3	26		4	9	4	11	36			7		3	182
計		548	159	354	199	92	42	24	67	84	30	257	3	120	37	1	90	2107

2. 中等学校(前期・後期) (計 15 カ国 711 冊) (2022年3月31日現在)

国	教科	国語	社会	歴史	地理	公民	数学	科学	生物	化学	物理	音楽・美術	体育	家政・技術	外国語	道徳・宗教	情報	その他	計(冊)
アメリカ			1	1	1					2								1	6
イギリス		8	8	3	3	2	4	6	1	1	1	2			2		2		43
インドネシア		3	3			3	3	3							3	3		3	24
韓国		5	2	2			3	3				4	2	3	5	2		3	34
シンガポール				3	7		3		1	4	2			2	4				26
スペイン		5		2	3	1	5	2	1		2	1	4	3		4			33
タイ		8	4				10	5				2	2	6				3	40
台湾		9	18	3	3	3	10	17	1			6	6		12			6	94
中国		9		16	8		10		6	5	7	8			11			1	81
ドイツ		3	2	31	9		8	2	3	2	2	5		1	8		2		78
ネパール							1	1							1				3
フィンランド		3	4	3	3		6		5	1	1	4	1	1	6	1		1	40
フランス		3		2	1		2								20				28
ラオス		14		7	7	7	8		3	3	3		1	8	18			15	94
ロシア		15	6	9	4		8		4	4	3	10	3	2	5	6	2	6	87
計		85	48	82	49	16	81	39	25	22	21	42	19	26	95	16	6	39	711

3. 公益財団法人モラロジー研究所からの受贈コレクション (計 18 カ国 7249 冊)

2017年、公益社団法人モラロジー研究所の施設建て替えにともない、18カ国7249冊にも及ぶ教科書の寄贈を受けた。諸外国の教科書は、以下のとおりである。

国名	受贈冊数	国名	受贈冊数
アメリカ	1489 冊	ドイツ	760 冊
イギリス	735 冊	旧東ドイツ	48 冊
イタリア	497 冊	旧西ドイツ	256 冊
カナダ	266 冊	ロシア	39 冊
スウェーデン	81 冊	旧ソ連	280 冊
スイス	150 冊	韓国	549 冊
スペイン	150 冊	中国	832 冊
フィンランド	97 冊	香港	236 冊
フランス	616 冊	台湾	168 冊

2022年度事業計画

<研究部> 研究部主任 山川 智子

1. 「世界の教科書展」の実施

世界各地における教育の現状を学習する資料として収集した教科書、および教材・解説等を展示し、海外の教育事情を紹介する。2022年度は、「世界の教科書展 特集・マレーシアの教科書」を越谷キャンパス学園祭（藍蓼祭）で開催予定。マレーシアは2005年度以来2度目の特集となり、教育政策や動向等の新たな情報・資料も展示の予定。また、2016年度から続く学外展示として、「OKEGAWA hon+」（桶川）でも「世界の教科書展」を開催予定。実施方法は、いずれも、感染症の状況及びその対策等をふまえて検討する。

2. 『教育研究所年報』第31号の発刊

2022年5月に発刊（本誌）。世界の教科書展、定例研究会の報告など、前年度の活動報告および今年度活動計画を中心に掲載（全11頁）。

3. 客員研究員の受け入れ

国内の学術機関（他大学を含む）から10名の申請者があり、受け入れを承認した。

4. 「定例研究会」の実施

2022年度は年2回（8月、11月・通算第100、101回）を実施予定。開催方法は感染症等の状況をふまえて検討。

5. 海外の教科書データベースのデジタル管理化

収集した海外の教科書データベースのデジタル化を進め、国や地域・校種・学年の教科書の表紙画像を加える等、より検索しやすく整理・アップグレードして管理を実施していく。

<研修部> 研修部主任 小幡 肇

1. 『教育研究所紀要』第31号の発刊

『教育研究所紀要』第31号の特集テーマは4月の研究所会議にて正式決定し、5月中旬に、特集テーマに関する論文の依頼、および投稿論文等の募集を開始。原稿の締め切りは9月下旬で、2022年12月に発刊予定。

2. 『教育研究所ニュース』51号の発刊

本研究所の事業の進捗状況や活動の報告を中心に、学内外にそれを知らしめていく広報誌としての役割を担う本誌は、5月に『教育研究所年報』が出る関係から、2018年度より年1回の発刊となり、2022年11月に発刊予定。

3. 『文教大学の授業』80、81、82、83号の発刊

引き続き、文教大学の教員の授業を学内外に紹介していく。2022年度は、教育学部 清水邦彦先生（5月・80号）、人間科学部 宮地さつき先生（7月・81号）、教育学部 橘晋太郎先生（10月・82号）、経営学部 石塚浩先生（1月・83号）に執筆いただく予定。

4. 教育研究所ホームページの運営・更新

各コンテンツの整備と発信内容の精査、積極的な情報発信に力を入れていく。

5. 新刊行物「学校のいま（仮）」の発刊

本学卒業生の現職教員に、新学習指導要領・GIGAスクール構想・コロナ禍への対応など、現在の学校教育の様子を紹介してもらい行物「学校のいま（仮題）」（A4リーフレット・年1回発刊の予定）の企画を開始。教職希望の現役学生向けの刊行物として、2022年度内にパイロット版を発行、その後、定期（年刊または季刊）刊行物にしていく予定。

2021年度

所長	手嶋 將博			
研究部主任	山川 智子			
研修部主任	小幡 肇			
事務	山上 真理			
客員研究員	綾 牧子	阪本 陽子	清水 香保理	
	中川 真規子	矢作 由美子	木場 雪香	

2022年度

所長	手嶋 將博			
研究部主任	山川 智子			
研修部主任	小幡 肇			
事務	河口 恭子			
客員研究員	綾 牧子	阪本 陽子	清水 香保理	
	中川 真規子	矢作 由美子	木場 雪香	
	松嶋 淑恵	梨子 千代美	辻 菜津美	
	塚原 元気			

教育研究所年報 第 31 号

発行日 2022 年 5 月 2 日

発行者 文教大学教育研究所
〒343-8511 埼玉県越谷市南荻島 3337
電話 048-974-8811

印刷 有限会社 カワカミ印刷
電話 048-976-0007
